

### 3. JR横川駅周辺地区の現況

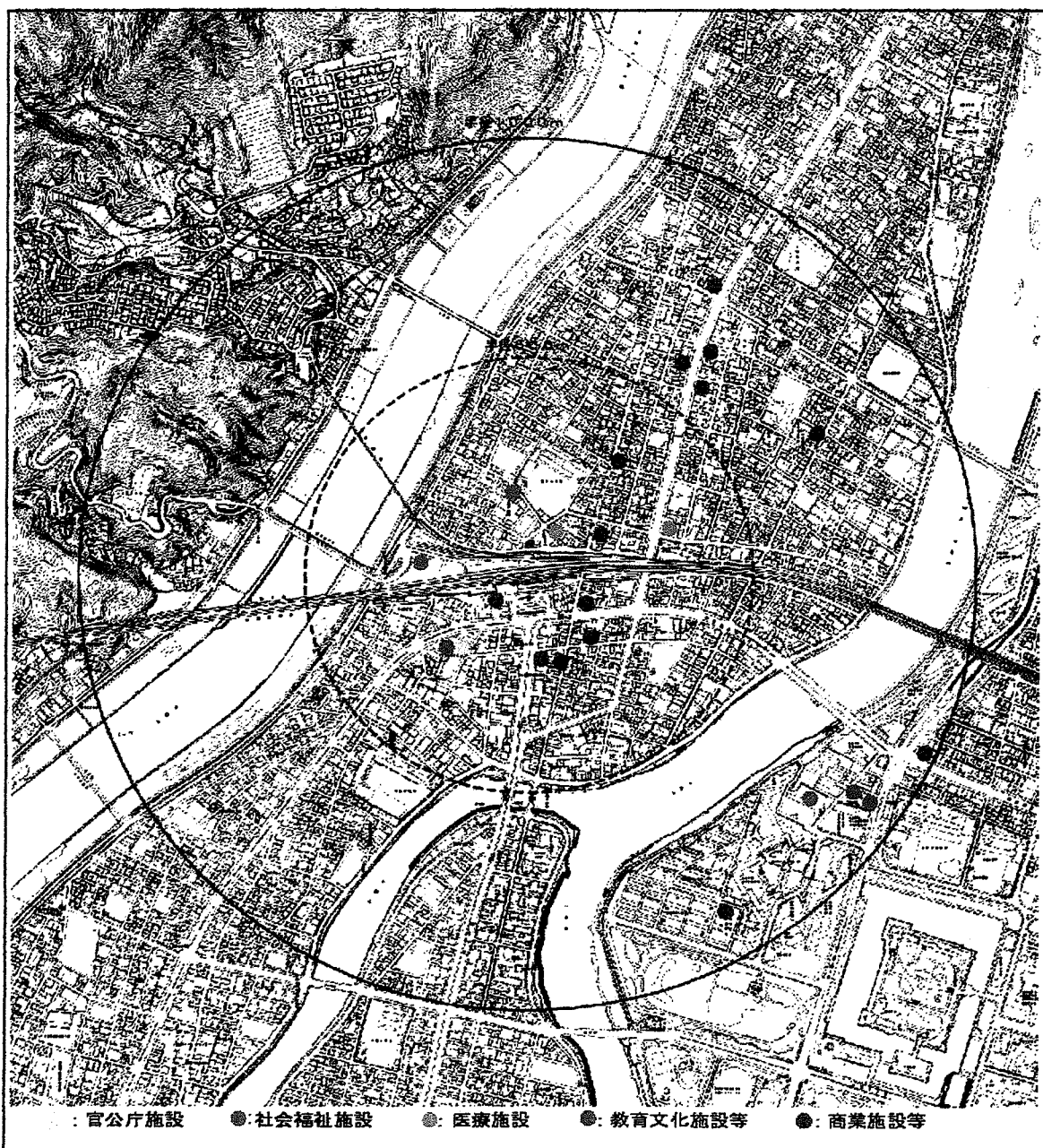
#### (1) 地域特性

JR横川駅は、太田川河口デルタの北部に位置し、JR山陽本線、可部線や路面電車、路線バス等を結ぶ交通結節点となっており、古くから都心と市北部地域を連絡する役割を果たしています。

このため、JR横川駅の周辺地区は、フレスタ（スーパーマーケット）、横川商店街等の商業施設が比較的多く、そのほか駅からの徒歩圏内には、西区民文化センター、三篠公民館、広島市中央老人福祉センター、長崎病院等、公共施設や教育文化施設、社会福祉施設、医療施設等が分布しています。

また、平成15年（2003年）3月、路面電車の電停が駅前広場へ乗り入れたことにより、乗り継ぎ利便性が向上するなど、交通結節点としての機能が大きく強化されています。

JR横川駅周辺施設分布図



## (2) 交通結節点としての役割

J R横川駅は、市域内における主要な交通結節点のひとつであり、東西方向に山陽本線、北方向に可部線といったJ R線が伸びています。また、南口駅前広場及び周辺地区には、都心方面への路面電車や都心方面、市北部方面への路線バスの発着地または経由地となっています。

## (3) 利用状況

J R横川駅は、1日当たりの乗降客数が約3万人と、広島市域内のJ R駅ではJ R広島駅に次ぐ利用者数を有する旅客施設です。

周辺地区には、フレスタ、横川商店街などの商業施設、西区民文化センターや西区図書館、三篠公民館などの公共施設、教育文化施設があり、また、広島市中央老人福祉センターなどの社会福祉施設や、長崎病院などの医療施設が存在しているなど、健常者だけでなく、高齢者や身体障害者の方々が多く利用されており、バリアフリー化の必要性が高い地域です。

また、J R横川駅は、都心と市北部を結ぶ重要な交通結節点としてふさわしい、すべての人にやさしい施設として機能強化及びバリアフリー化が望まれています。

## (4) 駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現況

J R横川駅は、視覚障害者誘導用ブロックや手すりへの点字表示が既に設置されていますが、昇降設備については、山陽本線、可部線ホームとも階段のみで、エレベーター、エスカレーターが設置されていません。このため、車椅子での移動については、駅員等の介助により一般客と同様の階段を使用しているのが現状です。

また、トイレについても、身体障害者対応トイレが設置されていません。

このように、設備の改善や維持管理の充実など、今後さらなるバリアフリー化が望まれています。

駅周辺の状況を見ると、南口駅前広場は、広場改築により、広場内歩行空間の段差の解消、連続した屋根の整備、視覚障害者誘導用ブロック、音声案内装置、身体障害者対応トイレの設置などバリアフリー化が進んでいます。さらに、国道部分についても、視覚障害者誘導用ブロックや音響信号機などが設置されています。

しかし、北口付近には、幅員の狭い歩道があり、さらに、歩道上の立て看板や違法駐輪・駐車などのバリアも存在し、円滑な移動の妨げとなっています。